

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-330	14-017	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Association between alcohol consumption and periodontal disease: the 2008 to 2010 Korea national health and nutrition examination survey. アルコール摂取と歯周病の関連：2008年～2010年の韓国国民栄養調査結果より		
執筆者		
Park JB, Han K, Park YG, Ko Y.		
掲載誌		
J Periodontol. 2014 Nov;85(11):1521-8. doi: 10.1902/jop.2014.130782.		
キーワード		PMID
アルコール摂取、横断研究、疫学、歯周疾患指数、歯周病、歯磨き		25008215
要 旨		
目的： アルコール摂取と歯周病には正の関連が報告されている。本研究では、韓国国民健康栄養調査(KNHANES)を用いてアルコール摂取と歯周病治療の必要性の関連を検討した。		
方法： 韓国疾病予防対策センターにより2008年から2010年の間に調査されたKNHANESデータを用い、WHO作成の歯周病に關数する指数(Community Periodontal Index: CPI)が3以上を要歯周病治療と定義した。多重ロジスティック回帰分析を用いて、要歯周病治療とアルコール摂取量や喫煙、1日の歯磨き回数等との関連を検討した。		
結果： 男性では、飲酒と要歯周病治療は多変量調整後も関連していた。年齢、喫煙、BMI、運動、教育、収入、白血球数、糖尿病、高血圧、メタボリックシンドローム、1日の歯磨き回数を調整した男性多量飲酒者における要歯周病治療のオッズ比は、非飲酒者を基準としたとき、1.271 (95%信頼区間(CI) 1.030-1.568)だった。飲酒習慣スクリーニングテスト(AUDIT)スコアが20点以上の男性の要歯周病治療の多変量調整オッズ比は、AUDITスコア0~7を基準としたとき、1.569 (95%CI 1.284-1.916)であり、アルコール摂取量やAUDITの点数が増えるほどオッズ比が上昇した。しかし、女性では多量飲酒やAUDITスコア20点以上と歯周病治療の必要性に男性と同様の関連は認めなかった。		
結論： 男性の多量飲酒者は年齢、社会経済状況、糖尿病、高血圧、メタボリックシンドロームの有無、1日の歯磨き回数などに関わらず、要歯周病治療のオッズ比が高かったが、女性では同様の関連を認めなかった。本研究でアルコール摂取は治療が必要な歯周病の潜在的なりスク指標であることを示した。		